

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (3) 大山崎町歴史資料館

大山崎町歴史資料館 (京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字竜光3番地 大山崎ふるさとセンター2階)

大山崎は天王山や淀川に近く、古くから東西交通の重要地点として発展した大山崎町について、大山崎町戦国史や文化人との関わり山崎の戦い、千利休の茶文化など、戦国・文化史に触れる展示が豊富で、町の自然・交通・文化・戦国史などを、多彩な展示を通してわかりやすく紹介。

1. 大山崎町歴史資料館の状況

施設の基本情報

- ◆ 博物館種別：指定施設
- ◆ 公式HP：
大山崎町の公式WEBサイト>生涯学習・スポーツ>歴史・文化>大山崎町歴史資料館紹介WEBページ
- ◆ 開館時間：9:30~17:00 (最終入館 16:30)
- ◆ 休館日：月曜日 (祝日の場合は翌日)、年末年始 (12/28~1/4)、企画展の前後など臨時休館あり
- ◆ 入館料：一般 (個人：200円/20名以上の団体：150円)、小中学生 (個人：無料/団体：無料)
※企画展・特別展は別途料金



▲大山崎ふるさとセンター、大山崎町商工会が入る建物の2階が大山崎歴史資料館

2. デジタルアーカイブの取組み (これまで)

公開状況

◆ デジタルアーカイブサイト：なし

◆ 一部資料の公開：

大山崎町歴史資料館紹介WEBページ内の大山崎オンライン資料室「ズームアップOYAMAZAKI」にて一部の資料を詳しい会話形式での説明と共に公開中。

◆ 掲載の頻度：

2020年10月の第一回掲載から不定期で少しずつ資料館所蔵資料を掲載、現状第六回まで更新。



▲大山崎オンライン資料室「ズームアップOYAMAZAKI」

- ◆ デジタル化は企画展用に断片的に進められているが、体系的な公開は未整備。
- ◆ 資料の一部を大山崎オンライン資料室「ズームアップOYAMAZAKI」で公開済みだが、公開範囲は限定的。
- ◆ 公開画像の解像度が低いため、細部まで資料閲覧ができない状態。
- ◆ 文化遺産オンラインや外部プラットフォームでの公開は未実施。
- ◆ デジタル化や公開作業は予算が取得できた場合に外部事業者へ業務委託してきた。
- ◆ デジタル化や公開の意義やその重要性を理解しているが、予算的制約や機材の不足、対応人員が不足 (施設の職員数は、館長含めて2名程度) している。

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (3) 大山崎町歴史資料館

3. 常設展示室

常設展示：山崎廃寺出土の7～8世紀の塑像や文字陰刻瓦（府指定文化財）を通した高僧道昭・行基との関わりの紹介。8世紀末～9世紀の緑釉の火舎・釜（府指定文化財）と古代山崎津模型（1/400）による平安前期の文化交流への想起。さらに、鎌倉・室町時代の油売りを解説する映像機器や、千利休ゆかりの茶室待庵復元模型の展示がある。

・古代コーナー

発掘された土器や考古資料から、古代の交通・文化を紹介。

・中世コーナー

鎌倉・室町時代の油生産（えごま油）や地方の生活・産業を展示。

・山崎合戦・利休・待庵コーナー

戦国時代の「山崎の合戦」解説や、千利休ゆかりの茶室「待庵」の原寸大模型（復元モデル）を展示。

・近世コーナー

江戸時代の絵図や自治・文化の資料などを紹介。
常設展示は実物資料のほか、模型、映像、解説パネルなどを使って楽しく学べる工夫がされている。



▲古代コーナー



▲中世コーナー



▲山崎合戦・利休・待庵コーナー



▲近世コーナー

4. 所蔵資料の特長

考古遺物：緑釉陶器



考古遺物：文字印刻瓦



錦絵



古絵図



2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (3) 大山崎町歴史資料館

現地調査：2025年10月29日（水）実施

◆参加者

- ・大山崎町歴史資料館 館長（兼 大山崎ふるさとセンター所長） 氏
- ・大山崎町歴史資料館 職員 氏

◆概要（撮影対象資料とご要望）

1. 撮影機材・セットの準備

- ・立体物と平面資料（大型まで対応）を撮影するセットを用意。

2. 撮影対象と方法

考古遺物

- ・緑釉陶器（平安時代、京都府指定文化財）：お茶でいう風炉にあたる道具、日本最古のお茶道具と言われている。京都市にある風炉と比較したい。
- ・瓦（奈良時代）：瓦には文字が書いており、内容は願いや名前が書かれることが多い。この漢字の彫り方から漢字の書き順がわかる。
→撮影画像でも凹凸がわかるようにすると資料が生きてくる。

錦絵

- ・最近では資料の状態が良質かどうかを問われており、資料収集が1つの重要な業務となっている。これまでは壁に吊って撮影しているが、アクリルで上から抑えることができるのであればその撮影手法が良い。

古地図

- ・江戸時代の地図資料を撮りたい。地図資料は細かいところまで読めるかがポイント。貼り紙がついている資料も多い。
→貼り紙がある資料は、その部分をめくって撮影したものとそうでない両方のカットを撮りたい。→作品解説情報も一緒に情報として提示したい。

3. 研修の進め方

- ・撮影場所を使える日程が予定より短い為、座学による講義を割愛し、実際の撮影実習から行う。



▲考古遺物：緑釉陶器

▲考古遺物：文字印刻瓦



▲軸装された錦絵



▲錦絵



▲古絵図

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (3) 大山崎町歴史資料館

実地研修 (1日目)

写場となった3階のホールがレンタルスペースの為、会場が連続で空いている2.5日で実地研修と撮影を行った。(他施設は約3.5日)

| 12月22日 月 | Day 1 | 研修準備日 | 分類 | 数量 |
|----------|-------|---|----|----|
| 15:50 | 集合 | 送付分機材 開梱・確認 機材 準備・調整、紙管のセット組 事前確認 文字印刻瓦の撮影 | 立体 | 5 |
| 16:00 | 開始 | | | |
| 17:00 | | | | |
| 20:00 | 終了・退出 | | | |
| | | 日計 | | 5 |



▲紙管を用いて撮影用のライティングフレームを組んでいる様子



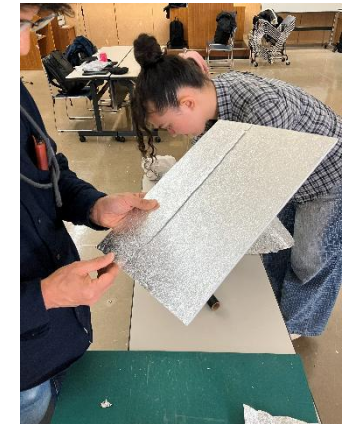
▲ライティングフレームに撮影用のディフューザーを取り付ける作業



▲撮影セット



▲文字印刻瓦など小さな立体物を撮影



▲簡易なレフ板をアルミホイルで作成

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (3) 大山崎町歴史資料館

実地研修 (2日目)

小さいサイズの文字印刻瓦を中心に、フォーカスシフト撮影などの実地研修を行った。午後は撮影のセット替えを行い、錦絵や古絵図などの平面資料を高所位置に据えたカメラで撮影した。

| 12月23日 火 | Day 2 | 研修日 | 分類 | 数量 |
|----------|----------|---|----------|--------|
| 8:50 | 集合 | | | |
| 9:00 | 開始 | 研修撮影 (実技) 前日から同じセット組みを使用 小さめの文字印刻瓦の撮影 | 立体 | 7 |
| 11:30 | 昼休憩 | | | |
| 13:00 | 再開 | 大きめの瓦を撮影 セット替え (背景あり) : 皿・釜など | 立体 立体 | 9 2 |
| 16:00 | | セット替え : 真俯瞰撮影用セット 本能寺の変・山崎合戦 錦絵 入江氏旧蔵資料(古絵図)等 | 平面 平面 | 8 6 |
| 19:00 | 撮影終了 | | | |
| 20:00 | 撤収 退出 | 撤収作業 | | |
| | | | 日計 | 32 |



▲研修実技の様子



▲被写体にフォーカスを合わせている様子



▲錦絵のセッティング

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (3) 大山崎町歴史資料館

撮影 (3日目)

高所にカメラを据えて、真俯瞰でサイズが大きい古絵図などの資料を撮影。額装がされた大型資料等も、ガラス面への反射や映り込みを抑制する特殊なセットを組み込んで撮影。

| 12月24日 水 | Day 3 | 撮影 1 日目 | 分類 | 数量 |
|----------|-------|------------------------------|----|----|
| 8:50 | 集合 | | | |
| 9:00 | 開始 | | | |
| 9:30 | | 1点目撮影開始 広瀬新川筋井路付替之図などの古絵図 | 平面 | |
| 10:30 | | 撮影対象物のサイズを変更 | | |
| 10:55 | | 撮影再開 | | |
| 11:00 | | 照明変更 | | |
| 11:30 | | 下田地割絵図等の撮影 | 平面 | 13 |
| 13:00 | 終了 | | | |
| | 昼休憩 | | | |
| 14:30 | 再開 | 小泉川付替之見取図 から | 平面 | 5 |
| 16:00 | | 急遽現場で追加撮影 6点 (古絵図など) | | 6 |
| | | 大型撮影用に撮影セットを変更 | | 1 |
| 18:00 | | ～機材 撤収 | | |
| | 終了・退出 | | 日計 | 25 |



▲平台撮影セットを組み、真俯瞰で古絵図を撮影



▲額装された大型の山崎大合戦之図を撮影 (反射を抑制するセット組み)

撮影した資料点数
: 62点 (101カット)

研修 : 37点/2日

- 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦 : 21点) (緑釉陶器 : 2点)
- 錦絵 (7点)
- 古絵図 (6点)
- 撮影日当日に追加で撮影した資料 (1点)

DNP撮影 : 25点/1日

- 古絵図 (14点)、錦絵 (4点)
- 撮影日当日に追加で撮影した資料 (7点)

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (3) 大山崎町歴史資料館

撮影環境 (写場について)

大山崎町歴史資料館3階ホールの一角(約16平方メートル)を使用

- ・ 普段は講演会、イベント等に使用
- ・ 撮影に使用可能な机・椅子等あり
- ・ カーテンあり(遮光は不可)



▲ホールの一角を使い撮影セットを用意

●パターン①



●パターン②

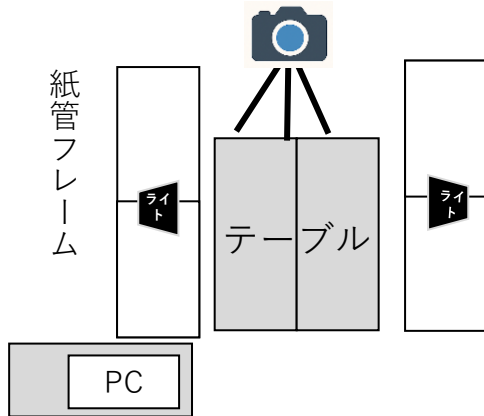


●パターン③



●パターン①

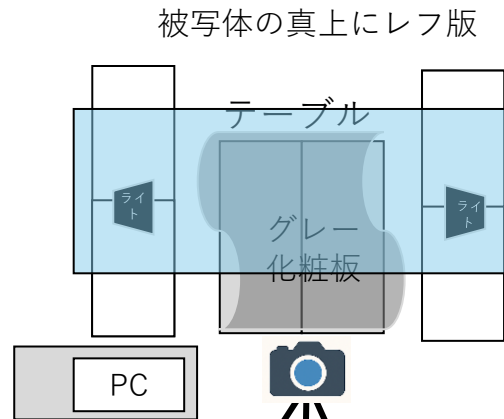
小型立体物の撮影(真俯瞰)



※カメラはスタンドで固定し
上部に設置

●パターン②

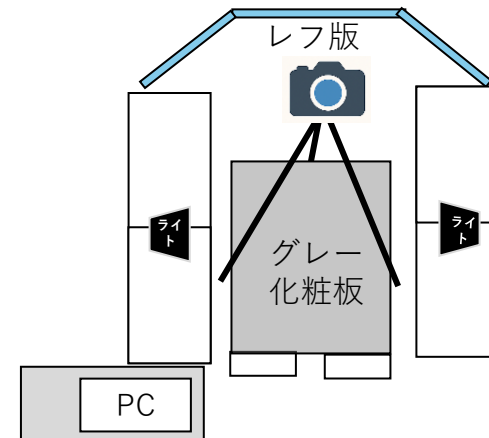
背景が必要な立体物(斜俯瞰)



※カメラは斜め上から

●パターン③

錦絵や古絵図などの平面物の撮影(真俯瞰)



※カメラは高所から真俯瞰で

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (3) 大山崎町歴史資料館

撮影リスト (1/2)

※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

| 撮影順 | 作品名称1 | 作品名称2 | 撮影日 | 撮影主体 | 材質 |
|-----|-----------|-----------------|--------|-------|----|
| 1 | 大刀自御願口 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月22日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 2 | 辛口口太千麻呂～ | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月22日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 3 | 父母為 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月22日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 4 | 佐為宿祢 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月22日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 5 | 體雲近土 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月22日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 6 | 榎井小家 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 7 | 進志 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 8 | 秦口 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 9 | 津口 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 10 | 辛矢造 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 11 | 河内部口 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 12 | 日置造須刀自女 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 13 | 六人部連宇麻口 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 14 | 口女 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 15 | 佐為宿祢手子 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 16 | 乙麻呂孫葉栗足鳥 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 17 | 君麻呂 良人田麻呂 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 18 | 林連口 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 19 | 國麻呂 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 20 | 國嶋 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 21 | 徳廣 | 山崎廃寺出土品 (文字陰刻瓦) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 22 | 皿 | 山崎廃寺出土品 (緑釉陶器) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 23 | 火舎・釜 | 山崎廃寺出土品 (緑釉陶器) | 12月23日 | 研修で撮影 | 粘土 |
| 24 | 本能寺焼討之図 | 本能寺の変・山崎合戦 錦絵 | 12月23日 | 研修で撮影 | 紙 |
| 25 | 足利義教公 | 本能寺の変・山崎合戦 錦絵 | 12月23日 | 研修で撮影 | 紙 |
| 26 | 本応寺大合戦之図 | 本能寺の変・山崎合戦 錦絵 | 12月23日 | 研修で撮影 | 紙 |
| 27 | 大伽藍法要の図 | 錦絵 | 12月23日 | 研修で撮影 | 紙 |
| 28 | 小栗栖の露 | 本能寺の変・山崎合戦 錦絵 | 12月23日 | 研修で撮影 | 紙 |
| 29 | 新撰太閤記 1 | 本能寺の変・山崎合戦 錦絵 | 12月23日 | 研修で撮影 | 紙 |
| 30 | 新撰太閤記 2 | 本能寺の変・山崎合戦 錦絵 | 12月23日 | 研修で撮影 | 紙 |

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (3) 大山崎町歴史資料館

撮影リスト (2/2)

※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

| 撮影順 | 作品名称1 | 作品名称2 | 撮影日 | 撮影主体 | 材質 |
|-----|-----------------|---------------|--------|-------|----|
| 31 | 新撰太閤記 3 | 本能寺の変・山崎合戦 錦絵 | 12月23日 | 研修で撮影 | 紙 |
| 32 | 八幡山崎地内淀川木津川の図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月23日 | 研修で撮影 | 紙 |
| 33 | 摂州高槻城絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月23日 | 研修で撮影 | 紙 |
| 34 | 梶原台場関門絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月23日 | 研修で撮影 | 紙 |
| 35 | 関門道筋取調図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月23日 | 研修で撮影 | 紙 |
| 36 | 関門道筋御改絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月23日 | 研修で撮影 | 紙 |
| 37 | 天王山絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月23日 | 研修で撮影 | 紙 |
| 38 | 広瀬新川筋井路付替之図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 39 | 山崎川表樋より上牧村井路迄之図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 40 | 小泉川河口周辺絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 41 | 淀川・小泉川合流図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 42 | 下田地割絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 43 | 淀川水除堤敷設絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 44 | 大山崎御神領悪水抜絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 45 | 川表田地車道下絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 46 | 大山崎荘田畑山地等隣村境略絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 47 | 城州乙訓郡大山崎絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 48 | 大山崎八幡宮御領内野田地絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 49 | 大山崎御領内境内絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 50 | 八幡宮御領大山崎下田地絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 51 | 小泉川付替之見取絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 52 | 神領悪水井路先延目論見絵図 | 入江氏旧蔵資料(古絵図) | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 53 | 豊臣昇進録 | 本能寺の変・山崎合戦 錦絵 | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 54 | 太平記山崎合戦 | 本能寺の変・山崎合戦 錦絵 | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 55 | 山崎大合戦図 | 本能寺の変・山崎合戦 錦絵 | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 56 | 山城国淀城縮図 | — | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 57 | 大山崎幡宮御領内境内図 | — | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 58 | 橋本陣屋周辺図 | — | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 59 | 摂州嶋上郡広瀬村東方絵図 | — | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 60 | 大山崎山荘花見案内図 | — | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 61 | 大山崎山荘図会 | — | 12月24日 | DNP | 紙 |
| 62 | 山崎大合戦之図 | 本能寺の変・山崎合戦 錦絵 | 12月24日 | DNP | 紙 |

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (3) 大山崎町歴史資料館

施設ヒアリング：デジタルデータの活用イメージ・アイデア

- デジタル化した資料を**研究者が遠隔で活用**できるようにしたい。
- 高精細デジタルデータにより、**資料の細部観察を可能にし、閲覧要請への対応効率化**を図りたい。
- デジタルアーカイブを活用し、**施設来館時の事前・事後学習の充実**につなげたい。
- 地元小学校の地域学習において、**デジタル資料を教育教材として活用**したい。
- 学生が所蔵資料を**GIGA端末上で観察・資料をトレースする学習**に利用できるのでは。
- 絵図・地域地図データを用いた**地域の歴史理解・比較学習（過去と現在の比較）**に使いたい。
- 明治期の測量図等を活用した**塗り絵・参加型学習コンテンツ**へ展開したい。
- 江戸時代の地図データを**防災教育・防災資料として活用**できるのでは。
- 撮影画像を活用し、**子どもたちがデジタル端末で自由に観察できる環境整備**したい。
- 錦絵等のデジタルデータから**レプリカを制作し、出前授業や館外教育で活用**できるのではないか。

施設ヒアリング：課題

- 館長と職員の**2名体制による慢性的な人手不足**により、デジタル化業務に専念できる環境がない。
- 学芸員業務が多岐にわたり、**保存・収集など本来業務にも十分に手が回っていない**。
- デジタル化の重要性は理解しているものの、**実作業を担う余力・時間が不足**している。
- 職員の**定年退職等**により、本取り組みが**一過性で終わるリスク**がある。
- ボランティアや学生の活用は理想だが、**人員の募集・シフト管理などのマネジメント負荷**を担えない。
- 文化財の取り扱いにおいて、**事故発生時の責任リスク**が高く、**簡単には任せられない**。
- 現状公開しているデジタル画像は**解像度が低く、詳細閲覧に耐えられない**。
- 実地研修において、**撮影姿勢・照明などの基礎知識**が十分に共有されていなかった。
- 単館での**撮影設備保有は予算・人員面で困難**なため、**複数館が使える撮影施設**が望ましい。
- 施設内に**常時撮影ができるようなスペース**が不足している。

大山崎町教育委員会 生涯学習課 からのコメント

- 本事業における撮影データの**著作権の帰属が各施設にあることが非常に有難い**。
- 大山崎町における**文化政策予算の確保が厳しく優先度が下がりやすい**。府主導の本事業は**とても貴重な機会**。